

2017年9月13日

草の根・人間の安全保障無償資金協力（ガイアナ）
セント・イグナティウス中学校太陽光発電システム設置計画及び
レサム・スペシャルニーズ・グループ多目的センター建設計画に関する供与式

9月12日午後1時頃、ガイアナのリージョン9地区、レサム、セント・イグナティウス村にて、草の根・人間の安全保障無償資金協力「セント・イグナティウス中学校太陽光発電システム設置計画」及び「レサム・スペシャルニーズ・グループ多目的センター建設計画」の供与式が行われました。

セント・イグナティウス中学校及びレサム・スペシャルニーズ・グループは、日本政府の合計供与額177,178米ドル（それぞれ90,000米ドル及び87,178米ドル）の無償資金を利用し、同地区にあるそれぞれの事業を実施しました。

本式典には、在ガイアナ日本大使館（在トリニダード・トバゴ日本大使館が兼轄）の小林真一郎二等書記官及びブライアン・アリコック（ガイアナ・リージョン9地区代表）をはじめ、レサム・スペシャルニーズ・グループ代表ユサ・ザビアー氏、マーク・アダム氏、カリコム事務局派遣 JICA 専門家森田竜也氏並びに他の特別ゲスト、受益者の出席の下、実施されました。

小林真一郎二等書記官は、スピーチの中で「草の根・人間の安全保障無償資金による学校校舎への太陽光発電システム設置を通じた持続的可能エネルギーの利用及び多目的センターの建設を通じた日本の支援は、先住民コミュニティへの貢献及び日本とガイアナとの深い友好関係を象徴するものである」と述べました。

日本国政府は、今後とも両国の友好関係と相互理解を深めていくため、様々な分野でガイアナに対する開発支援を実施していきたいと考えています。

（了）



小林真一郎（二等書記官）によるスピーチ



セント・イグナティウス村文化グループよりガイアナ・リージョン9代表・ブライアンアリコック氏に記念品の贈与。



左-右

マークアダム（Special Needs for Life, Inc.）、ユサ・ザビアー（Special Needs for Life, Inc.）、小林真一郎（二等書記官）、ブライアンアリコック氏（ガイアナ・リージョン9代表）



特別ゲスト及び
セント・イグナティウス村の受益者



セント・イグナティウス中学校
草の根事業により設置されたソーラーパネル



草の根事業により建設されたレサム・スペシャルニーズ・グループ多目的センター